	評価項目	チェック項目	判断の目安	評価 指定管理者	評価 市	今回の評価がA+である特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由【指】【市】	対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指】【市】
Ⅰ 市民サービスの	1 基本的な考え方・姿勢	○指定管理業務に係る基本的な考え方や職員の姿勢が、当該施設の設置目的、施設の特性及び市の求める指定管理者像に合致しているか。	○当該施設の設置目的、施設の特性及び市の求める指定管理者像が配置職員に共有されている。 ○現場責任者及び配置職員の考え方や姿勢が、本市の意図するものとなっている。	A	A			
		○団体等の持つノウハウ等の強みを活かした意欲的な創意工夫等を行う姿勢が見られるか。	○利用者等のニーズの把握、利用拡大に向けた取り組み、効率化の推進などに係る創意工夫への積極的な姿勢が見られる。 ○当初の提案やその他具体的な目標等があり、そのための取組を行っていく姿勢が見られる。					
	2 サービス向上及び利用促進の取組	○サービス向上及び利用促進、地域の活性化等、発展性のある独創的で魅力的な取組が行われているか。	○指定管理者の独創的で魅力的な取り組みが、利用者サービスの向上や利用者増、地域活性化などにつながっている。 ○自主事業の開催に当たっては、利用者ニーズを反映させ、事業目的や効果を明確にし、より多くの利用者に参加してもらえるよう、各種工夫を行っており、また、対象別に多様な事業を実施している。	A	A			
		○適切な利用者への接客・応対、社会的弱者への配慮や、利用者の公平、公正な利用が確保されているか。	○施設のサービス水準を確保するため、受付・電話対応・その他接客マナーなど、標準的な業務実施手順や注意点等をマニュアル化している。 ○利用者、特に社会的弱者にとって公平・公正に利用できるマニュアル及びシステムを構築・運用している。 ○職員の意見を取り入れながら、標準的な業務実施手順等をスタッフミーティング等において定期的に見直している。 ○わかりやすい言葉づかいや図、イラスト、写真等を活用し、誰にでもわかる工夫をして情報提供している。					
		○利用者のニーズ等を収集し、それを反映する仕組みや、トラブル、苦情処理の適切な対応と未然防止・再発防止に向けた具体的な方策がとられているか。	○利用者アンケート等からサービスに係る課題を抽出し、課題への対応策を講じて改善するなどの工夫が見られる。 ○苦情処理の適切な対応が可能なマニュアルや体制が整備されている。 ○利用者が苦情や意見を述べやすいよう、窓口（苦情係、ご意見箱の設置、HPでの受付等）を設置している。 ○利用者からの苦情や意見等が寄せられた際には、内容を記録し、対応策を実施している。 ○日々の利用実績を記録し、定期的（週単位、月単位等）に集計している。 ○利用実績、稼働率の推移を分析し、これを踏まえた改善に取り組んでいる。					
		○ホームページや広報紙等を活用し、積極的な情報提供による利便性の向上や利用者増に向けた取組を行っているか。	○誰にでもわかりやすいホームページや広報紙等となっている。 ○潜在的な利用者の掘り起こしや利用拡大に向けたアピールができるホームページや広報紙等となっている。 ○施設内の掲示板等を有効に活用して、利用者にわかりやすく情報提供をしている。					
	3 施設の維持管理等	○施設及び設備の保守点検、備品等の管理、施設清掃・植栽等の維持管理、計画的な修繕等、法令等に基づいた適正な業務計画となっており、実行をしているか。	○事業計画書等に沿って、建物・設備・備品・樹木等が適切に管理されている。 ○利用者が安全に利用できる状態が保たれている。 ○施設内及び敷地内の美観が保たれている。 ・市所有の備品と指定管理者所有の備品が区別されており、備品台帳に記された備品がすべて揃っている。 ○トイレ等の衛生状態が保たれている。 ○日常的、定期的に施設内外の巡回を行い、事故や犯罪を未然に防止するように努めている。 ○鍵の管理方法が明確になっており、適切に管理している。	A	A			
		○廃棄物の処理方法と合わせて、省エネルギー対策やごみ減量への取組等、環境法令を踏まえた環境負荷低減への取組が行われているか。	○廃棄物の処理について、適正な考え方や取り扱いとなっている。 ○環境法令を踏まえ、省エネルギー対策やごみ減量に向けた実効性のある取り組みが行われている。					
		○業務の一部を外部委託する場合、業務の実施や履行確認等、管理指導の体制が整っているか。	○外部への委託について、契約書等の書類があり、契約内容が確認できる。 ○外部委託先からの業務報告が書面にて定期的に行われており、履行確認ができる。 ○委託先の現場代理人等に対し、必要に応じて指導ができる体制にある。					

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価 指定管理者	評価 市	今回の評価がA+である特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由【指】【市】	対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指】【市】
向上（共通項目）	4 緊急時の対応等	○緊急時・災害時の連絡体制、役割分担等が明確となっており、事態を想定した研修・訓練等の取組が行われているか。	○事故発生時及び災害時の連絡体制や対応体制がマニュアル等で明確になっている。 ○事故発生時及び災害時のマニュアル等に基づき、防災訓練等を実施している。また、事故対応及び災害対応に係る研修や事例研究等を実施している。 ○発生した事故又は災害等の内容及び対応等について記録を作成している。	A	A			
		○安全管理、衛生管理、危機管理等の徹底に向けたマニュアルの整備、全職員の対応力の平準化や意識啓発に向けた取組が行われているか。	○事故防止のチェックリストや事故対応マニュアル等を整備し、職員に周知徹底がされている。また、事故防止策の研修や事例研究等を実施している。 ○当該施設の管理に係る法令・基準等を職員が把握している。 ○管理瑕疵・過失に起因する事故は発生していない。 ○金銭取り扱いのマニュアル等を作成し、職員間で情報の共有化を図り、事故防止に努めている。					
	5 職員配置等	○実施業務に即した職員配置等（人数、専門職、勤務体制、責任体制）であり、法令等に基づく雇用・労働条件等を管理監督する体制を有しているか。	○事業計画書・水準に沿った職員体制であり、管理職は、他の職員の業務状況を適切に把握している。 ○報告書等で職員配置等を確認することができる。	A＋	A＋	【指】 【職員体制】 各館で当初の人員配置計画に基づいた人員配置をしており、安定した運営を行った。 責任者は全員有資格者で、図書館勤務経験も1年以上の人員を配置している。 入社後の司書資格取得についてもシフトの調整や終了後のお祝い金制度などフォロー体制を敷いている。 【職員の研修について】 常勤の職員については外部の研修に積極的に参加し、広範な知識やスキルを取得するように努めた。また、研修受講希望者が無理なく参加ができるように、配慮したシフトを組んでいる。 また、館内でも人権啓発研修や個人情報保護研修、窓口対応研修などを実施し、常勤・非常勤に関わらず資質の向上に取り組んでいる。 総括館長による資料等を活用したカスタマーハラスメントなどクレーム対応における危機管理研修を3館共通で実施した。 定期的にzoomによる3館での選書会議を実施、意見交換を行い、選書スキルの向上に務めている。 【市】 ・毎月、内外の研修に複数回参加し、トラブルがあった際などは、窓口やクレーム対応の研修を各館または3館共通で行うなど、利用者への接遇改善、向上に向けて日々取り組んでいる。 ・また、「イベント」「レファレンス」「障害者サービス」「危機管理」など、各館力を注ぐ事業や課題を検討し、それに沿った研修に参加するなど、図書館に求められるサービスの向上に努めている。		
		○従事職員の資質向上や人材育成に係る取組は、効果的かつ適正なものであるか。	○常勤・非常勤職員に関わらず、職員の研修計画を作成し、内部研修を実施しており、外部研修や勉強会に参加できる環境を整えている。また、必要に応じて、職員の専門技術を高めるため、事例検討会、勉強会や意見交換会等を開催している。					
	6 その他	○市、関係機関、地域団体等との有効な連携・協力体制を確保しているか。	○協定書に定められた協議事項について、適切に協議が行なわれるなど、責任者間での十分な連絡が行われている。 ○地域住民、町内会、自治会等の地域の団体、関係機関などの関係団体との連携を図るため、情報交換を行っている。 ○地域住民の意見・要望を把握している。 ○人的資源や場所の提供を通し、各種地域活動へ参加している。	A＋	A＋	【指】 【人的資源・場所の提供・地域活動への参加、情報交換】 （北） ・地域のサークル等に館内スペースで作品を展示してもらうなどし、地域に親しまれる図書館運営を行った。 ・神田公民館で行われた公民館まつりに参加し、図書館のPRとリサイクル資料配布等を実施した。 ・神田中学校区子ども読書活動推進協議会運営委員会へ参加した。 （西） ・平塚市博物館学芸員による「歴史講座」を実施した。 ・旭北公民館、旭南公民館で行われた公民館まつりに参加し、図書館のPRとリサイクル資料配布等を実施した。 ・近隣公民館、山城子どもの家との相互の広報協力を行った。 ・近隣小学校の学校司書等からの依頼を受け、授業支援として、学習支援にかかる資料リストを提供した。 ・近隣小学校の学校司書からの申し入れを受け、「ミニ・ビブリオバトル」の見学受入を行った。 （南） ・なぎさふれあいセンターにて開催された「第12回ふれ愛・なぎさ祭り」に参加しリサイクル図書を配布（485冊）し、「みんなのおはなしこうさく会」も実施した。 ・リサイクル図書を地域団体に提供した。（8団体に137冊） ・花水地区町内福祉村の活動で作製された作品を「花水福祉村手作り作品展」として館内にて展示した。 【市】 ・「地域に根付いた図書館」を目指して、各館地域や施設の特性を活かし、積極的に公民館やボランティアサークルなどの地域団体や近隣の学校などと連携を図った。既存事業を継続した他、アンケートなどから利用者の要望を聞きとり反映するなど、新たな事業も実施した。 ・市との定例会や日々の連絡を通して、サービスの向上に向けて、情報共有や課題解決に取り組んだ。		
		○管理運営にあたり、関係法令等の遵守、情報公開及び個人情報保護に対する適切な運用方針が示されており、実行されているか。	○各種規程及び体制が整備されている。 ○制度を理解し、法令を遵守している。また、法令遵守に対する職員の意識啓発に向けた取り組みを行っている。 ○個人情報の取扱いに関するルールやマニュアル等が整備され、責任者が特定されている。 ○個人情報を収集する際は必要な範囲内で適切な手段で収集し、目的以外に使用していない。 ○情報公開に関するルールやマニュアル等が整備され、責任者が特定されている。					
Ⅱ	1 適正な経理事務等	○当該年度の経費の積算や執行に係る考え方が具体的に示され、適正な経理処理が見込めるか。	○収支計画の積算根拠が明確である。 ○当該施設の指定管理料に係る会計処理と他の事業（自主事業等）の会計処理が分けられている。 ○経理を担当する職員を配置している。					

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価 指定管理者	評価 市	今回の評価がA+である特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由【指】【市】	対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指】【市】
経費の節減等（共通項目）		○当該期間の収支は、事業計画等に基づく積算の根拠が明確に示され、無理や漏れ等のない確実なものであるか。	○事業計画と収支計画の関係が明確である。 ○指定管理業務用の通帳や印鑑などが適切に管理されている。 ○収支決算書に記載されている費目に関し、伝票等が存在する。 ○適切な経理書類が作成されている。 ○内部もしくは外部による監査体制がとられている。 ○決算の収支が極端な赤字でない。	A	A			
	2 コスト縮減等	○民間のノウハウが発揮され、創意工夫による効率的な管理運営の取組や、コスト縮減に向けた取り組みが行われ、高い実効性が認められるか。	○民間ノウハウを活かした経費節減及び効率化への取り組みを実施しており、成果をあげている。 ○利用者の増加に向けた創意工夫等の取り組みが見られる。	A	A			
個別項目	1 資料収集	○図書館の基本サービスである資料収集を業務内容説明書に沿って指定管理者のノウハウを活用しながら実施し、魅力的な資料の収集につなげているか。	○資料収集の予算配分、目的及び目標を明確にし、計画どおり資料を収集しているか。 ○ニーズ把握など民間ノウハウを駆使した収集をしているか。 ○市民の「お役立ち図書館」として、生活や課題解決に役立つ資料を積極的に収集しているか。 ○費用対効果を意識し、継続利用が見込める需要の高い資料の複本購入をおこなっているか。	A	A			
	2 蔵書管理	○蔵書の提供・管理を指定管理者のノウハウを活用しながら計画的に実施しているか。	○魅力的な書架となるよう、サインや書架配置等の改善を定期的に実施しているか。 ○各館の収納可能冊数に見合うよう、必要な除籍を計画的に実施しているか。 ○書架状況を把握・分析し、バランスの取れた蔵書となるよう計画を立てているか。	A＋	A＋	【魅力的な書架となるよう、サインや書架配置等の改善を定期的に実施】 （北） 「学習支援コーナー」や「「医療と健康情報コーナー（がん情報ギフト）」などを、利用者のニーズに沿ったコーナーを新設した。 （西） ・ビデオ資料の半閉架撤廃、除籍などで空いた書架をYAコーナー拡充に転用。 ・児童書架一部の見出しを刷新。 ・地域資料書架の資料を市内と県内に分けて整理した。 （南） ・がんに関する情報提供を目的として「がん情報ギフト」からの寄贈資料を中心にがんに関する図書を集めた「がん情報コーナー」を設置した。 （3館共通） ・学校連携の促進及び学習支援を目的とし、学習に役立つ図書や学年別教科書に載っている図書などを集めた学習支援コーナーを設置した。 ・地区図書館間で、所蔵している大活字図書の入れ替えを実施した。 【市】 ・大活字本の地区館間での入れ替えなど、限られた予算の中で利用者サービスの向上に努める工夫があった。 ・学習支援コーナーやがん情報コーナーの設置など、利用者からの意見や、ニーズを速やかに反映した。 ・毎月展示を更新するなど、常に利用者の目を引くような展示や、資料の見せ方などを各館が考え、その結果、居心地の良い空間を作り出している。 ・各館除籍計画に沿って、継続的に除籍を実施し、図書館の安全管理に努めている。		【指】 児童の学習支援及び学校連携を深めるべく「学習支援コーナー」を設置した。地区図書館間で所蔵している大活字図書を入れ替えることにより、資料を有効活用し限られた予算内での利用増加を図った。各館、魅力的な書架になるよう配置の見直しや整理を実施、また、常に書架整理や除架作業を行い、利用者の使いやすい、見やすい書架となるよう日常的に取り組んでいる。
	3 読書活動推進事業	○読書普及や図書館利用を促進するため、各図書館内で積極的に事業を実施し、成果を上げているか。	○平塚市子ども読書推進計画（第4次）に沿った、年齢に配慮したイベントを定期的に開催しているか。 ○図書館の役割につなげて市民の暮らしや課題解決に役立つイベントを積極的に開催しているか。	A＋	A＋	【指】 【児童を対象とした読書推進イベント】 （西） ・小学校4～6年生を対象とした「ミニ・ビブリオバトル」を実施。 ・サンタさんへのおすすめの本を紹介する参加型展示「クリスマスツリーをかざろう！」を実施した。 （南） 小学3年生・4年生・5年生・6年生を対象とした「南図書館ビブリオバトル」を実施した。 （3館共通） ・地区図書館合同の読書週間恒例イベントとして「北・西・南図書館合同！読書週間スタンプラリー」を実施した。 ・本の福袋を作成し、貸し出すことにより、普段あまり手に取ることの少ない分野の本と出会う機会を提供した。		

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価 指定管理者	評価 市	今回の評価がA+である特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由【指】【市】	対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指】【市】
						【図書館の役割、市民の課題解決のイベント】 （北） 暮らしに役立つイベントとして、「終活講座」を実施した。 （西） 歴史講座「遺跡からみる平塚の今昔」として、平塚市博物館学芸員による平塚市の歴史を学ぶ講座を実施。 （南） ・なぎさふれあいセンター内にある南部福祉会館と共催した「初めてでも安心！タブレット型PC体験講座」を実施した。 【市】 既存の事業を継続した他、新規自業も実施。利用者のニーズを探り、実現する姿勢を常に持ち、多世代に向けて多くのイベントを実施した。イベント実施時に関連書籍を置くなど、図書館ならではの方法で、多くの方に本に触れてもらう機会を提供した結果、来館者数の増加につながっている。		
	4　学校等支援・学校連携	○学校や団体等に対して、図書資料を活用した支援や連携のサービスを積極的にアピールし、展開しているか。	○学校・団体等に対する図書を活用した支援（団体貸出）を積極的にアピールし、団体に対する貸出数の増加につなげているか。 ○学校からの依頼、要望に対し、真摯に対応し、支援・学びのサポートにつなげているか。	A	A			
	5　地域連携・ボランティア	○地域団体、社会教育機関、民間団体等と協力・連携し、地区図書館を地域住民の学びと子どもの育ちの支援につなげているか。	○地域団体等からの依頼、要望に対し、真摯に対応し、受入しているか。 ○地域団体等との協働事業を提案、開催するなど、地域に頼られる図書館として発信しているか。	A＋	A＋	【指】 【地域連携】 （北） ・イベントの実施にあたっては、公民館と共催したり、地域の人材に講師を務めていただいたりし、地域とのつながりを意識して取り組んだ。 ・地域のサークル等に館内スペースで作品を展示してもらうなどし、地域に親しまれる図書館運営を行った。 ・神田公民館で行われた公民館まつりに参加し、図書館のPRとリサイクル資料配布を実施した。 （西） ・平塚市博物館へ依頼し、歴史講座の事業を実施した。 ・公民館等と広報の相互協力を行った。 ・旭南公民館で行われた公民館まつりに参加し、図書館のPRとリサイクル資料配布等（リサイクル資料90冊、読書通帳68冊配布）を実施した。 ・旭北公民館、旭南公民館で行われた公民館まつりに参加し、図書館のPRとリサイクル資料配布等（リサイクル資料82冊、読書通帳42冊配布）を実施した。 （南） ・なぎさふれあいセンターにて開催された「第12回ふれ愛・なぎさ祭り」に参加しリサイクル図書を配布した。（485冊） ・なぎさふれあいセンター内にある南部福祉会館と共催した「初めてでも安心！タブレット型PC体験講座」を実施した。 ・リサイクル図書を地域団体に提供した。（8団体に137冊） ・花水地区町内福祉村の活動で作製された作品を「花水福祉村手作り作品展」として館内にて展示した。 【市】 ・地域住民の学びと子どもの育ちを支援させる場としての図書館を目指し、地域の行事に参加したり、連携したイベントを実施するなど、積極的に図書館をPRした。その継続的な活動の成果として、少しずつ地域に「図書館」が浸透してきている。		
コメント	・アピールしたいポイント ・課題または今後の改善点など	【指】 【全館共通事項】 ・令和5年度をとおして各館人員の定着が見られ、図書館司書資格者・経験者（1年以上）の安定的配置ができた。 ・各館とも内部研修に加え外部研修にも積極的に参加・館内への共有を行い、職員の資質向上に努めた。 ・各館、事業計画書での計画以上のイベントを開催した。各イベントとも、利用者からの反響は大きく、アンケートでも高評価をいただくことができている。 ・北、西の一部の照明器具について、LED化工事を実施した。 ・各館とも地域連携を深めるべく、地域のイベント・会合に積極的に参加するとともに、地域団体と連携したイベントを実施したり、複合施設や近隣公民館の催しに図書館として参加した。 【北館】 ・地域のサークルによる写真や絵手紙などの作品展が定着し、作品を見るために新規の利用者が来館するなどの効果も表れてきている。 ・カウンターに利用者用の椅子を設置するなど、利用者の目線に立った窓口対応が行えるように取り組んだ。 ・近隣小学校を訪問してブックトークやおはなし会を実施することで、これまで図書館に来館していなかった児童に対しても、読書に親しんでもらえる機会を設けることができた。また教員が来館し、授業で必要な図書を団体貸出されるなどの支援にもつながった。 （課題） ・中学生・高校生の利用促進のため、中学生・高校生が参加しやすいイベントの開催や学校との連携を検討していきたい。 【西館】 ・小学校での授業や自主学習等に資する「学習支援コーナー」の設置及び学校司書等希望者へのリスト配付、年度内新刊購入および地区館間で移管した大活字資料を展示した「新しく入った大活字資料コーナー」の設置、配架方法や書架レイアウトの見直しによるYAコーナーの拡充、地域資料を市内、県内資料とに整理し、調査がしやすくなる工夫などを行い、各コーナーの利用促進を図った。 ・地区図書館合同の「読書週間スタンプラリー」のほか、西図書館読書活動推進事業として、「ミニ・ビブリオバトル」や参加型展示「クリスマスツリーをかざろう！」を実施し、読書推進を図った。 ・団体向けサービスのPRにより、一部の学校や学校司書から授業支援や事業見学の依頼があり、図書館サービスのPRや連携強化につながった。 ・平塚市博物館と連携し、講師を招致して講座を実施することで、関連資料紹介や学びの機会創出により読書推進を図るとともに、組織間の連携強化を図った。 ・継続課題であった団体貸出の登録を1件受付した。団体向けサービスや学習支援コーナーなどのPRを引き続き実施し、今後の利用促進を図る。 ・施設設備の改善として、老朽化した什器等の更新を実施し、来館者の利便性向上への対応に取り組んだ。 （課題） ・遠方利用者の利用促進や団体等との連携は物理的距離などが障壁であり、依然として課題である。共催事業の実施など、他の団体、施設等との連携を強化し、外部での事業活動を通して、図書館のPRや読書推進を図ることも検討する。					

☆第一次・第二次評価
（指定管理者・施設主管課による評価）

指定管理者評価シート（5/5）

令和5年度後期
施設名：北図書館・西図書館・南図書館

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価 指定管理者	評価 市	今回の評価がA+である特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由【指】【市】	対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指】【市】
		【南館】 ・学校との連携及び学習支援を目的とした「学習支援コーナー」、がんに関する情報提供を目的とした「がん情報コーナー」、新しく購入した大活字図書及び北図書館・西図書館と入れ替えを行った大活字図書を集めた「新しく入った大活字図書コーナー」（2024.3.末まで）を新たに設置し、図書がより選びやすくなるよう工夫するとともに関心の高い分野の情報発信を行うことで学びの機会を提供し、利用増加を図った。 ・複合施設（なぎさふれあいセンター）で行われた「第12回ふれ愛・なぎさ祭り」でのリサイクル本配布や、複合施設内の他施設と連携した体験講座を実施する等、地域団体との連携をより深めるとともに、普段図書館を利用していない方々にも図書館をPRした。 ・小学生を対象とした読書推進事業として、地区図書館合同で「北・西・南図書館合同！読書週間スタンプラリー」を実施し、南図書館単体では「南図書館ビブリオバトル」を実施した。どちらも昨年度好評を得たイベントであり、人気の恒例イベントとなるよう実施を継続した。 ・上半期に引き続き、下半期もリサイクル図書の地域団体への提供を継続し、8団体に137冊提供した。 （課題） 上半期の課題であった学校連携のひとつとして団体貸出をPRすべく「学習支援コーナー」を設置し広く周知に努めているものの、団体貸出に繋がらない現状がある。近隣の学校や、地域団体に直接PRしていくことが今後の課題である。						
	総括	【指】 引き続き職員配置も安定し、職員研修の充実や外部研修への参加、イベント実施、外部団体との連携などの取り組みを拡大させることができた。 昨年度に引き続き、夏休み期間中の月曜日開館も利用者に好評で、市民のニーズに合わせたサービスの拡大につながった。 イベントについては北図書館の終活講座、西図書館の歴史講座、南図書館のタブレット型PC体験講座など、地域の施設・団体と共催・協力した事業を実施した。各イベントとも、利用者からの反響は大きく、アンケートでも高評価をいただくことができている。また、昨年度に引き続き「本の福袋」を実施、恒例事業として一定の認知度と反響を得ている。今後も、イベントを通してより多くの市民の方に図書館サービスについて興味を持っていただけるような取り組みをしたい。 また、蔵書管理に関しても作成した資料収集・除籍計画に基づいて資料を選定し、計画に照らし合わせてニーズに即した資料を購入した。3館で定期的に選書会議（ZOOM）を実施し、意見交換・情報共有を行った。 上半期の課題であった団体貸出の普及を進めるべく各館で「学習支援コーナー」を設置し広く周知に努めているものの、現状成果は芳しくない。今後、学校との連携強化はもちろん、地域の施設・団体との連携を強化、外部での実績を重ね、地域に根差した図書館運営を目指していく。 【市】 課題や利用者のニーズを検証し、地域とのつながりも大事にしながら、既存事業にとどまらず新たな事業の実施も積極的に行った。また、利用者目線に立った書架づくりや展示など、居心地の良い空間づくりも実施し、その結果が来館者数の増加につながっており、利用者サービスは着実に向上している。団体貸出や限られた予算の中での蔵書管理など、引き続き課題はあるが、「学習支援コーナーの設置」や「大活字本の入替」「書架の見せ方」などの工夫も見られ、その試みをどのように広げていくか、指定管理者と情報を共有しながら検討していきたい。						

評価について

A＋	継続的に適切・良好であり、高く評価できる部分がある。
A	継続的に適切・良好である。
B	一部に適切・良好でない部分があったが、改善済み又は見込みである。
―	水準に未達の場合

判断の目安に対する指標

良	水準を満たしている。
可	支障があった。迅速に改善し、対応に問題はなかった。
不可	重大な支障があった。
	支障があった。改善されていない。
	支障があった。改善への対応が著しく遅滞または不十分で、不適切であった。